

新潟県立 文書館だより 第4号

平成14年10月25日

——— 新たに閲覧可能となった文書等 (13.4~14.9) ———

	請求記号	文 書 群 名 (関係地名)	年 代	点 数	備 考
複 製	A02-UH	米沢市上杉博物館所蔵上杉家文書	建久 7 ~ 寛永19	1230	第3号参照
	A02-YT	山形大学所蔵中条家文書	建久 3 ~ 永禄12	190	
	A04-SE	反町英作氏所蔵文書	嘉禄 3 ~ 元和 2	707	
	A04-R	西蒲原郡東中村・小柳家文書(中之口村)	近 世 ~ 近 代	107	
	C01-HM	北海道立文書館所蔵越後国各地文書	近 世 ~ 近 代	28	
	C01-HK	北海道開拓記念館所蔵越後国各地文書	近代	28	
	C09-N	イギリス国海軍測量海図	1870以降刊行	1	
	C09-N	西蒲原郡羽黒村・大沢家旧蔵文書(中之口村)	享保14~明治 5	14	
	C53-W	東蒲原郡五十島村・渡部家文書(三川村)	近世	9660	
	C59-ST	三島郡本島村・菅沼家文書(寺泊町)	近 世 ~ 近 代	3720	
	C66-T	北魚沼郡西名村・椿家文書(守門村)	近世	29	
	C88-F	中頸城郡尾神村・藤野家文書(吉川町)	近代	2687	
	D01-HT	北海道立図書館所蔵北越殖民社文書	近代	3	
	D09-N	昭和前期司法関係文書	昭和 8 ~ 昭和12	13	
	D09-M	小川庄年貢大小買蠟納帳・物産陳列館概覧 佐渡毎日新聞 新佐渡	文化13・大正 3 大正 4 ~ 大正 5 大正 4 ~ 大正12	3	
受 贈 等	E 8 7	新潟市西海土氏収集書籍等	安政 5 ~ 昭和23	30	
	E 1 0 5	新潟県視聴覚教育関係資料	昭和20~30年代	174	
	E 1 0 6	刈羽郡桐沢村・青柳家文書(小国町)	天明 7 ~ 昭和 9	626	
	E 1 2 7	旗本池ノ端溝口家代官・堀川家文書(豊浦町)	宝暦 4 ~ 大正12	1662	
	E 1 3 1	越後国各地近代文書(新井市、吉川町等)	明治 8 ~ 昭和19	158	
	E 1 3 7	北魚沼郡牛ヶ島村ほか文書(川口町、小出町)	宝暦 9 ~ 昭和 4	27	
	E 1 3 8	日本石油(株)定時株主総会資料(出雲崎町)	明治25~昭和16	40	
	E 1 3 9	北魚沼郡芋川村文書(湯之谷村)	正保 3 ~ 明治36	179	
	E 1 4 0	中魚沼郡二子村文書(十日町市)	天和 3 ~ 明治11	51	
	E 1 4 2	中頸城郡熊川新田文書(板倉町)	延宝 9 ~ 大正10	326	
	E 1 4 4	「新潟市産業要覧」・「新潟案内」(新潟市)	昭和 4	2	
	E 1 4 5	「実用書翰文」・「実用女子習字の栞」	大正11~昭和 4	3	
	E 1 4 6	新潟県中学校教育研究会資料	昭和53~平成 8	645	
	E 1 4 7	近現代県内刊行新聞	明治34~昭和35	5	
	E 1 4 8	昭和戦後刊行新聞	昭和24~昭和35	1305	
	E 1 4 9	東頸城郡嶺村内地券(大島村)	明治13	1	
	E 1 5 0	昭和前期司法関係文書	昭和 3 ~ 昭和12	201	
	E 1 5 1	中頸城郡猿供養寺村文書(板倉町)	文政 2 , 天和14	2	
	E 1 5 2	佐渡国竹田村・名畑家文書(真野町)	享保16~昭和31	317	
	E 1 5 3	中魚沼郡真人村検地帳(小千谷市)	天和 3	7	
	E 1 5 5	北蒲原郡滝谷村・阿部家文書(新発田市)	嘉永 4 ~ 慶応 4	31	
	E 1 5 7	新潟県航空史関係文書	昭和57~平成14	85	
	E 1 5 8	中魚沼郡谷内村役場文書、昭和戦後新聞	明治31、昭和20~51	5	

	請求記号	文 書 群 名 (関係地名)	年 代	点 数	備 考
受 託	F 1	中頸城郡尾神村・藤野家文書(吉川町)	近 世 ～ 近 代	3996	法 帖
	F 1 8	中頸城郡田村新田・笠原家文書(大潟町)	近 世 ～ 近 代	7319	
	F 2 2	瑞香堂文庫(吉田町鈴木有本家旧蔵書籍)	近 世 ～ 近 代	146	
	F 5 1	旧新潟県蚕業試験場所蔵書籍	明治15～平成12	4655	
	F 5 5	中蒲原郡亀田町・佐藤家旧蔵書籍	近 世 ～ 近 代	50	
	F 5 6	刈羽郡諏訪井村・早川家文書(小国町)	宝永 5 ～大正11	155	
	F 5 7	「長岡様御頼一件」文書	嘉永 4	1	
	F 5 9	坂井清衛日記(新潟市)	明治44～昭和52	59	
移 管	F 6 0	南蒲原郡見附町・金井家文書(見附市)	近 世 ～ 近 代	79	書 画
	I 2 6	最新版新潟県地図	昭和51	1	掛 図 写 真
	I 2 7	新津市・五泉市近傍航空写真	昭和45～46	193	
	I 2 8	小・中・高等学校用教科書	昭和16～平成 7	9294	

※原則として越後国は国名を、佐渡国は郡名を省いています。また、**太字**の文書は解説文があります。

●平成 12 年度文書管理委任の状況

管 理 委 任 課	作 成 年 代	点 数
総務部文書私学課	昭和42年～昭和56年	16点
総務部 人 事 課	明治45年～大正元年	2点
	昭和21年	6点
	昭和43年～昭和45年	10点
土木部河川管理課	昭和34年	1点

●旧県蚕業(さんぎょう)試験場所蔵書籍

4655点、明治12(1879)年～平成12(2000)年。

明治28(1895)年、初めて新潟県農事試験場(古志郡山通村・現長岡市)内に蚕業部が設置されて以来、原蚕種製造所(明治43年、中蒲原郡五泉町・現五泉市)、蚕業試験場(大正12年同所で改称、昭和45年北魚沼郡川口町へ移転)、中山間地農業技術センター(平成6年同所で改称)、新潟県農業総合研究所中山間地農業技術センター(平成9年同所で改称)として今に至る行政機関の変遷は、そのまま日本の繊維産業の歴史を反映しているといつてよいでしょう。

かつて殖産興業・富国強兵を目指した近代日本の経済を支えた柱の一本は繊維産業でした。中でも蚕業は外貨獲得の主流として、政府は大きな期待を寄せ、官民ともに情報や知識の普及を図るためのさまざまな活動が行われています。関係者の意欲もまたなみなみならぬものであったことがわかります。

それらはこの書籍群から十分読み取ることができます。蚕業を主軸に、生物学・植物学・農芸化学・土壌学・繊維工業・産業経済など関連する分野を幅

広く包括していて、ほぼ20世紀100年の進展を物語っています。

全体の構成は、半数近くが逐次刊行物で、

「大日本蚕糸会報」(大日本蚕糸会、月刊、明治25年創刊号～昭和38年第847号)

「日本蚕絲学雑誌」(日本蚕絲学会、隔月刊、昭和5年創刊号～平成11年第68巻第6号)

「蚕絲研究」(農林省蚕絲試験場、年5回刊、昭和28年第3号～同58年第126号)

「北越の蚕業」(新潟県蚕糸会、月刊、明治40年創刊号～大正5年第137号)

を始め、戦後の日本蚕糸学会研究会・講演会記録(昭和27年～平成6年)や、全国統計・概要(昭和25年～平成6年)、各県蚕業試験場の年報(岩手・宮城・山形・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・東京都・千葉・神奈川・長野・石川・山梨・岐阜・徳島・愛媛・高知・熊本・大分・宮崎・鹿児島、昭和50年代後期～平成6年、県によって多寡あり)が蚕業の基本的な流れを知る手掛かりを提供しています。

また、1913年から1941年にわたる朝鮮総督府勧業模範所(のち勧業試験場)の報告書類も貴重な記録です。

平成12年度県農業総合研究所中山間地農業技術センター寄託、閲覧は原本のみ。(請求記号F 51)

●イギリス国海軍測量海図「日本北西沿岸、佐渡島及び新潟近傍」(複写)

英文、1点、1870(明治3)年以降。

図幅は佐渡島・佐渡島と粟島を含む越後の広域沿岸・新潟港口の3図が縮尺を違えて組み合わせられて一枚となっています。海図独特の厚手用紙に銅版印刷され、欄外に1868年7月1日付けでロンドンで

刊行されたとありますが、図中に偏位角が1870年の数値であることが記されているので、再版されたものと思われます。なお、海岸線は日本政府の地図によることが注記されていて、江戸幕府が提供した伊能小図が引用されていることがわかります。(請求記号 C 09-N)

●東蒲原郡五十島村・渡部(わたなべ)家文書(複写)

現三川村五十島(いがしま)。

近世を通じて会津藩領下条組に属して同家が肝煎を世襲。寛永期から明治に至る村政文書を中心に約12000点が伝わっています。文書の原本は、約2200点が元のままで、あとの9660点が順不同で712巻の巻物に貼りこまれた状態になっているので、その部分を中心に複製化を進めました。文書は一紙物がほとんどで、村とそれを取り巻く社会の具体的な事柄が豊富に記録されていることがうかがえます。

原本は、昭和62年から平成7年まで福島県立博物館(会津若松市)に寄託されており、その間に博物館によって全点がマイクロフィルムに撮影されました。その後当館へ寄託替えがなされたとき、博物館の御好意により、フィルムをデュープ(複製)させていただくことができました。舟運関係を中心とした2582点が新潟県指定文化財となっています。(請求記号 C 53-W)

●中頸城郡尾神村・藤野家文書(複写)

現吉川町尾神、1893号～2241号に至る約2700点の複製化。

明治30年代から昭和戦前にかけての大量の小作地経営証文を始め、毎年の小作米納入・管理・売却の過程や、国税・地方税の納付を示す文書が中心となっていて、さまざまな具体例を知ることができます。これにより、総点数6400点強に含まれる文書類は全て複写物での閲覧が可能となりました。

(請求記号 C 88-F)

このほか600点近い書籍等があります。(原本閲覧のみ。請求記号 F 1)

●三島郡木島村・菅沼家文書(複写)

現寺泊町木島。近世初期から住居し、庄屋を世襲して代々村の経営に尽力してきた菅沼家に伝わる、4187点のうち書籍を除く3720点を複製化しました。慶長12(1607)年「木嶋村谷内新開検地帳」、元和9(1623)年「山東郡木嶋村亥之年御成ケ之覚」を始め、近世を中心に昭和戦前期に至る約300年の木嶋村及び関係地域の様々な公文書が歴史を物語っています。

支配は当初堀氏領、元和2(1616)年から三条藩領、同9(1623)年から幕領(出雲崎代官支配)、

慶安2(1649)年から村上藩領(三条陣屋支配地藏堂組)となって明治の廃藩まで続いたので、文書量は村上藩領時代が最も多くなっています。

なお、寛永期(1624～43)を境に郡名表記が「山東」から「三島」に変わっていることがわかります。どちらも「さんとう」と読みます。原本は平成4年度菅沼龍弥氏寄託。

(請求記号 C 59-ST、書籍類 F 6)

●新潟県視聴覚教育関係資料(複写)

843点、昭和21(1946)年～同63(1988)年。新潟県による視聴覚教育・視聴覚ライブラリーの創設から普及活動の定着まで常に第一線で尽力してきた佐藤嘉市氏(元小学校長、1910～99)が手元に保存してきた関連文書で、昭和20～30年代の記録が中心になっています。G H Q指導下で始まった映画教育・視聴覚催事・アメリカでの研修ののち映画を通して民主教育を図るために県内各地を巡回上映した経過や、各種視聴覚機器の活用、自主制作へと発展してゆく具体的な状況がつぶさにうかがわれます。(請求記号 D 1-S K I)



配架された旧県蚕業試験場所蔵書籍

●刈羽郡桐沢村・青柳家文書

現小国町桐沢、626点、天明7(1787)年～昭和9(1934)年。

同村は、渋海川支流桐沢川の下流右岸の低位段丘面に立地し、天和元(1681)年から文久2(1862)年まで幕領、その後長岡藩領となり明治を迎えます。文書は明治期のものが中心で、当時の当主青柳貞作が戸長・村会議員・村助役等を歴任しているので、市町村制実施前後の地域状況を具体的に知ることができます。また、私的な記録類の中には俳句関係のメモが混じるなど、当時の教養人の一面が伺われます。平成10年度購入。閲覧は原本のみ。

(請求記号 E 106)

●旗本池ノ端(いけのはた)溝口家代官・堀川家文書

現北蒲原郡豊浦町池ノ端、1663点、宝暦4(1754)年～大正12(1923)年。

堀川家はもともと新発田城下・中町で米穀商「米屋」を営んでおり、町方支配にも関わって町代格あるいは年寄格の肩書がつくような有力商人でした。天保10(1839)年、当主才吉が新発田藩主溝口家の分家・旗本池ノ端溝口家から池ノ端陣屋入用金の献金を命じられました。このあたりから堀川家が主に池ノ端溝口家の台所を預かるようになったと思われます。その後安政2(1855)年同家は陣屋代官に任命され、翌年池ノ端村へ転居します。代官は江戸定府(じょうふ)の主家に代わって領地の支配を行い、年貢の徴収から民政までの全責任を負うもので、堀川家は才吉・静司の2代にわたって勤めました。

同家は明治以後も池ノ端村に住み続け、地域の公職を歴任したようで、中浦村長の肩書が最後に見えます。

文書群は「米屋」時代と代官時代に大別でき、後者は越後における旗本領地支配の具体的状況を伝える希有のものであり、堀川家文書の最大の特色となっています。当文書の存在はこれまで全く知られていず、わずかに堀川家が代官を勤めていたということだけが伝えられていました。細かな勘定書や、近代の書状などがまだ整理途中ですが、主要な文書は活用可能です。

幕末維新の混乱期の「殿様」(幕末に外国奉行を勤めた8代溝口直清、9代直壺)近辺や村方の様子から維新後も続く主家との関係など、細かなところまで読み取ることができ、興味は尽きません。平成11年度購入。閲覧は原本のみ。(請求記号 E 127)

●刈羽郡諏訪井村・早川家文書

現小国町諏訪井、155点、宝永5(1705)年～大正11(1922)年。

約半数が近世文書で、質地証文が多い中で、村政や水利に関するものも散見されます。平成13年度、前橋市・早川純夫氏寄託。閲覧は原本のみ。

(請求記号 F 56)

●佐渡国竹田村・名畑家文書

現真野町竹田、317点、享保16(1731)年～昭和31(1956)年。

村は佐渡島中央に広がる国仲(くになか)平野の東南、竹田川兩岸の台地上に立地し、古代国分寺跡が隣接しています。文書は明治～大正期の土地経営・金融を中心とする自家経営関係が大部分を占めているので、村の動きを読み取ることは難しいようですが、各時代の雰囲気や傾向を十分に伝える姿は伝わ

ています。平成13年度購入。閲覧は原本のみ。

(請求記号 E 152)

●北蒲原郡滝谷村・阿部家文書

現新発田市滝谷。近世滝谷村は会津藩領下条(げじょう)組に所属。その肝煎(きもいり)を世襲した阿部家に伝来した嘉永4(1851)年2月から慶応4(1868)年7月に至る御用留帳19点。幕末風雲急を告げる会津藩の命運が、触れ書きの条文からも刻々と伝わってきます。平成14年度購入。閲覧は原本のみ。(請求記号 E 155)

●佐渡毎日新聞(さどまいにちしんぶん、複写)

大正4(1915)年11月19日付(第3973号)～

大正5(1916)年2月29日付(第4068号)

佐渡毎日新聞社(佐渡郡相川町)発行。大正5年1月は欠本。

●新佐渡(しんさど、複写)

大正4(1915)年10月5日付(第3号)、

大正8(1919)年6月10日付(第793号)～

大正12(1923)年5月27日付(第1985号)

新佐渡社(佐渡郡相川町のち佐和田町)発行の新聞。当初は月2回(5・20日)刊、のち日曜日と大祭翌日のみ休刊となりました。欠号多数。

●越後国各地近代文書

158点、慶応3(1867)年～昭和19(1944)年。主な文書群は下記の通り。

中頸城郡上吉川村(現吉川町)・高野家文書:自家経営関係95点

中頸城郡栗原村(現新井市)・内山家文書:学校建設寄附褒状等11点

刈羽郡枇杷島村(現柏崎市)文書:鉱業組合同規約、用水路図面等7点

北蒲原郡中条町(現同)・須貝家文書:自家経営関係36点

平成12年度、上越市・川上達也氏収集寄贈。閲覧は原本のみ。(請求記号 E 131)

* * *

本号で紹介している文書等は、原則としていつでも閲覧ができます。目録の詳細は閲覧室の備え付けをご覧ください。

編集・発行 新潟県立文書館

〒950-8602 新潟市女池南3丁目1番2号
TEL.025-284-6011 FAX.025-284-8737

H P http://www.lalanel.gr.jp/npa/
Eメール archives@mail.lalanel.gr.jp